

わたしたちの町

人口(男)……4,497人  
(女)……4,827人  
計……9,324人  
11月中の転入……8人  
転出……16人  
世帯数……2,308世帯

(11月末日住民登録人口調べ)

広報

あいかわ

昭和60年(1985年)12月24日 第332号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186-78-2111

今月の紙面から

2面 農村勤労福祉センター  
農業総合指導センター  
林産物加工品等展示販売  
施設竣工  
3面 松ヶ丘団地分譲状況  
4面 交通死亡事故ゼロ 2000日  
健康シンポジウム

'85/12月 332号



ひと足早くお書き初め  
五講座でスタート

生涯講座

町公民館の生涯学習講座が始まりました。今年には書道、社交ダンス、英会話、レクリエーション、押し絵の五講座でスタート。十三日に開講式が行われ、すでに自主講座として開かれているマンドリン、コーラス、民謡、古文書の四講座とあわせて、九講座の参加者が集まり、これからの学習の打ち合わせなどを行いました。木村仁兵衛公民館長が「自分の心を豊かにする生きがいづくりをがんばってください」と激励。来年は当町で全県公民館大会が予定されており、それに向けての学習を誓い合いました。公民館では各講座の受講者を募っていますので、お気軽に参加ください。

開講式

交通死亡事故ゼロ二千日を達成

国勢調査 人口は九千三百九十九人

12月町議会

町議会十二月定例会は十七日に開会。冒頭で町長は、阿仁川ダム計画への対応などについて、行政報告を行いました。

町長の行政報告(概要)

町議会十二月定例会は十七日に開会。冒頭で町長は、阿仁川ダム計画への対応などについて、行政報告を行いました。

十月一日を基準日に行われた国勢調査の結果、秋田県総人口は五年前の調査に比べ〇・二%減少しています。鷹巣阿仁地区は特に減少率が高く二千九十五人(三・八%)の減少です。本町は二百七十八人(二・九%)の減少で人口総数は九千三百九十九人です。当町の人口は昭和三十年をピークに人口減少が続き、前回は九人増加となり、今回調査で再び減少に転じましたが、近隣町村に比べ減少幅が少なくなっています。

交通死亡事故ゼロ二千日達成

成については、町交通安全対策協議会を中心に町ぐるみ運動を続けてきました。地道な活動が実を結び十二月四日に二千日を達成し、県警本部から表彰を受けました。さらにこの記録を二千五百日に延ばすため、町民の喚起を促していきます。

当町の昭和六十年年度稲作は

前年度に比べ政府売渡数量が一万四千九俵少なく、超過米は六百六十一俵の出荷にとどまり前年度より九千九百六十七俵減少しています。転作の実施面積は目標面積に対し達成率が百一・六%。昭和六十年年度は水田再編事業の第三期対策の最終年度で、本年度目標の九分の面積配分が予

想されます。今後、関係会議を開き各集落への面積配分を行います。

阿仁川ダムについては、町

議会、特別委員会と合同で関係官庁の説明を求め、現地調査を行いました。ダム計画は多目的ダムとなっており、その水利用について検討されています。本町では大野台国営農用地開発、町営水道事業、工業用水、溜池補給水などについて、その水量の結論を出す必要があります。これら用水のダム利用権金や、関連工事とその負担金などについて受益団体等の意向もふまえて町議会と密接に連携して対応します。一市三町で組織している阿仁川ダム期成同盟会では、昭和六十一年度着工を陳情しています。松ヶ丘団地は二百七十一区画のうち百八十四区画が分譲済みで、総収入予定額は四億四千六百一十一万八千円。総支出予定額四億九千三百八十七万七千円で不足額は翌年度に繰越しになります。金利負担を軽減するため年度内分譲に努めます。誘致企業として進出が決定していた扶桑精工(株)は十一月で工場が完成し、来春三月に機械搬入。五月には本操業の計画です。現在五十七名が本場で研修しており、当初は三十名程度で開業の予定です。

町長日記から

師走になると華やかなジングルベルやクリスマスツリーを連想する。昔は大師講(だいしこう)があつて、貧しい母が十二人の子どもに小豆(あずき)がゆを長い箸(はし)で食べさせて、餓死しないように一生懸命になって育てた。この話は、子どもにとって、食べるものが無いと生きていることができないと考える幻想のひとつだった。食が足り、そして多様になり、金がすべてに優先して、我慢心のない、暴力、いたわりの心のないじめの子どもを大量に出す結果となった。じっくり考えてみなければならぬことだ。(義)

除雪に

ご協力ください

- ▽道路に雪を出さない。
- ▽屋根から落ちた雪は道路外に寄せる。
- ▽道路のそばに破損されて困るものは置かない。
- ▽道路からはみ出している庭木などは、枝を切るなどする。
- ▽路上駐車は絶対にやめる。





# 三施設合同で竣工式典

農村勤労福祉センター  
農業総合指導センター  
林産物加工品等展示施設

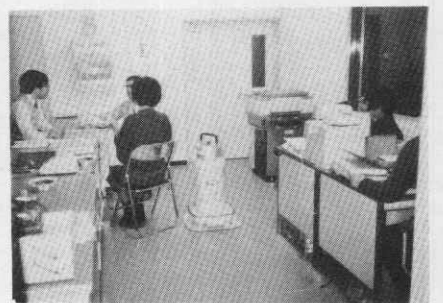
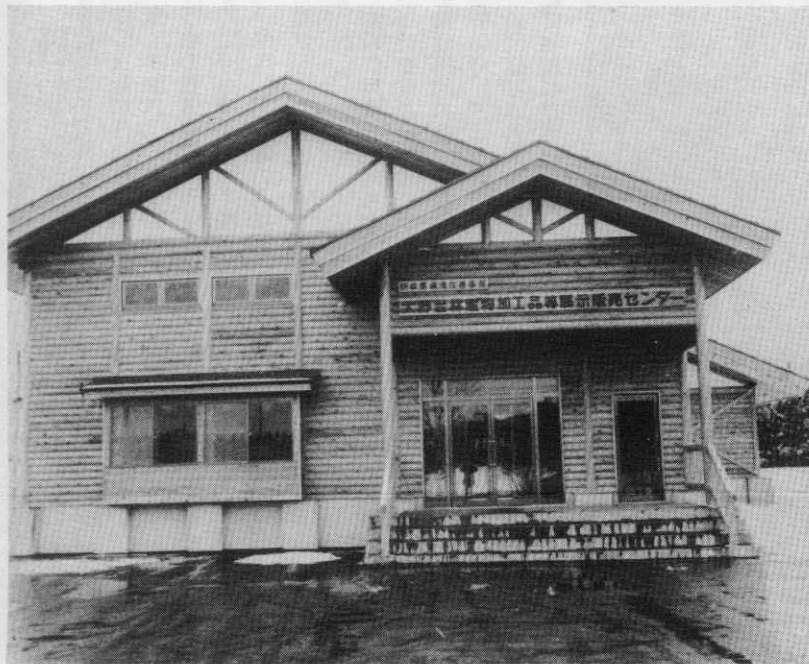
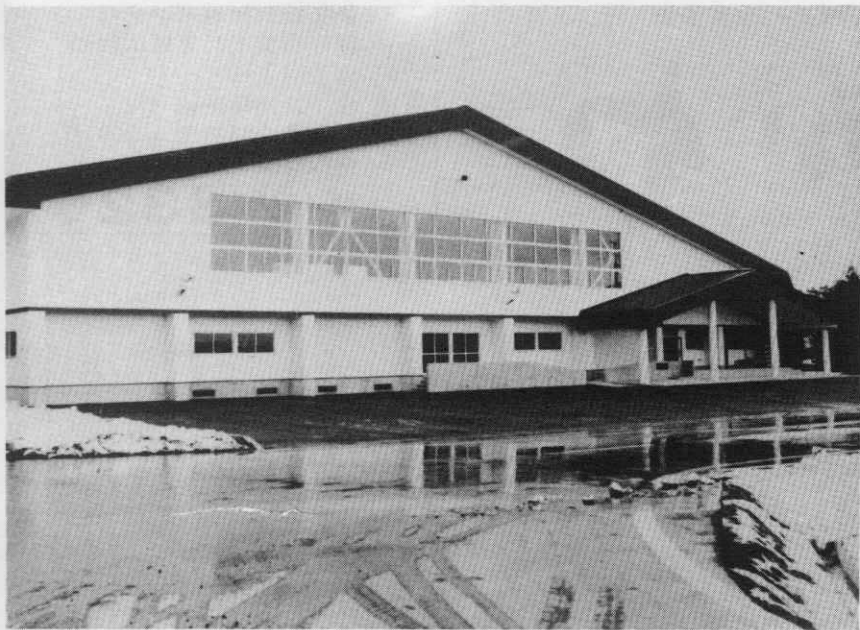
十二月七日、三施設の合同

竣工式典が農村勤労福祉センターで開かれました。式典に先立つて三施設の公開が行われ、参加者はカントリーエレベーター施設に隣接して建てられた農業総合指導センターから、大野台ハイランドの林産物加工品等展示販売施設と農村勤労福祉センターへと視察。農林業の振興と、働く人々の憩いを求める三施設の完成を喜び合いました。



←農村勤労福祉センター 恵まれた自然の中に、広々とした体育館が完成。↓落成を記

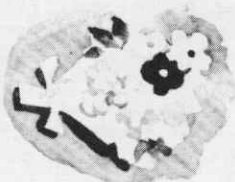
念して八日には鷹巣阿仁部婦人バレーボール大会を開催  
☎七八―二四八九



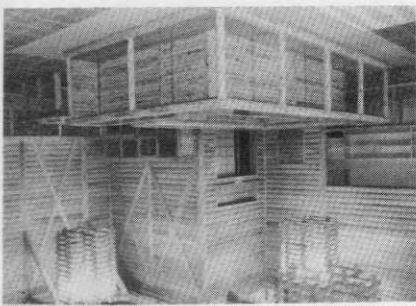
↑農業総合指導センター 情報交換室・営農相談室・土壤試験室などがある県内初の町農林業指導の拠点センター。

→個人相談や町の特産対策など訪れる人が多い事務室で。  
☎七八―四一四〇

(町森林組合の事務所も農業総合指導センター内に移転しました)



↑林産物加工品展示販売施設 丸太造りの美しい施設で、建物自体が「展示品」として観光のポイントとしてにぎわいそう。←木がふんだんに活用された室内では、製品の製作と展示販売が行われます。  
☎七八―二四九五



## 広大な国

### 中国を旅して

(下)

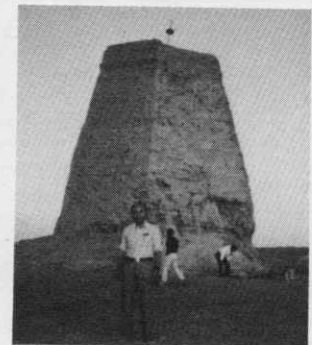
酒泉から敦煌までの四百二十キロは、バスの旅であった。戈壁砂漠を縦走するシルクロードは、東は西安(昔は長安)から、西はローマまで続き、その昔多くの商隊が命がけでここをこえ、絹織物や財宝、ロマンを運び、東西の文化がこの大動脈を通じて世界中に広まって行ったとされる。道筋には数キロおきに商隊の道標として重要な役割をはたした「のろし台」が残っており、時折「らくだ」や「羊」の遊牧が見られた。中でも雄大な地平線の彼方に沈む夕日の美しさは、まさに幻想の世界へと私達を引きこんで行くような光景であった。ノドの渴きを西瓜で潤しながら、八時間の旅を終えて敦煌へ到着したのは夜の九時近くであった。

### 歴史の重厚さ

私達が北京で見た「中秋の名月」は、ひときわ訝えわたり美しかった。十五夜の祝事は中国から伝わったとされるが、旧暦八月十五日は「中秋節」としてごちそうをつくり、一家団らんをして祝うという。翌日は、北からの侵略を防ぐために建造した六千キロ

また明朝帝王の十三陵は、死後もすべてを支配することを象徴し、定陵一つの建造費が当時の国家財政の二年分、八百万両を費やしたという。往時の栄華の程がうかがわれた。砂漠のオアシス敦煌は、シルクロードの中継点として重要な役割をはたし、またインドからはいち早く仏教が伝わったところとされる。この莫高窟は千仏洞とも呼ばれ、仏教美術の宝庫として世界的に有名である。二千体以上の仏教が安置され、現在五百の石窟が保存されている。今から二千二百年前に掘られ、約一千年の歳月を要したという。西安では秦始皇帝の守護部隊として有名な、兵馬俑を見学したが、六千体の等身大の兵馬が埋められており、秦代の勢力誇示の程がうかがわれた。十日間の短い旅であったが、四千年の歴史の重みや文化を肌で感じ、また青年やいろいろな人々との出会いは、終生忘れることの出来ない体験であったと思う。最後まで親切に案内をいただいた中国の方々に心から感謝を申し上げます。この報告を終る。  
(鷹巣阿仁広域市町村圏組合 日中友好青年交流の旅から。この項の報告は木村仁兵衛教育長。写真はシルクロードののろし台の下で。)

(日本の長さの約二・五倍)におよぶ世界最大の建物、万里の長城へ案内された。紀元前五百年頃から約三百年の歳月を要して築城したという。普通の日で一万人、多い日で四万人の見学者があるという。







町のこよみ

(予定)

- 十二月
  - 28日 公官庁仕事納め
  - 一月
    - 4日 成人式
    - 5日 消防出初式
    - 12日 町民スキー大会
    - 14日 大野台の里成人式
    - 19日 合川町教育を語る会 成人(林業)学級

年末年始の窓口

十二月二十九日から一月三日まで、役場は休みです。ただし戸籍窓口を三十日(＝平日通り)、三十一日(＝午前中のみ)には開きますので、利用ください。

国民年金 加入する人は 三種類

昭和六十一年四月一日より  
◆農業や自営業の人は今までどおり

改正前から国民年金に必ず加入しなければならなかった農業や自営業などの人で、昭和六十一年四月一日に六十歳未満の人(大正十五年四月二日以後生まれの人)は、新しい制度では第一号被保険者となりますが、加入の手続きや

**今月の納税**

固定資産税第4期

国民年金第3期

保険料の納付についてはこれまでと変わりません。

◆職場で厚生年金に加入している人は改めて手続きする必要はありません。

厚生年金に加入している人も新しく国民年金に加入することになりますが、加入されている厚生年金の方で必要な手続きをしますので、ご本人が改めて手続きをする必要はありません。

◆「サラリーマンの奥様(第三号被保険者)としての加入には手続きが必要です

新しい国民年金では、「サラリーマンの奥様」(第三号被保険者)となると、ご主人の加入する厚生年金の方で国民年金の保険料を負担する形になります。この「サラリーマンの奥様」(第三号被保険者)になるためには、役場福祉課国民年金係で届出の手続きをしていただかなければなりません。

この届出の手続きを忘れますと将来年金を受けられなくなりまますので、気をつけましょう。

なお、現在国民年金に任意加入しておられる方には、この秋に届出の用紙が送られていますので、その用紙を使って手続きをしてください。

▽二十才になったら

国民年金

新成人になられたら「自分

最低賃金が 変わります

秋田県の産業別最低賃金が十二月二十八、二十九日から変わります。(一日当り)

食料品等製造業 三千五百円  
繊維産業 三千三百六十五円  
木材木製品家具等製造業 三千六百二十二円

出版印刷関連産業 三千五百十円

機械金属業・自動車整備業 三千六百七十六円

卸売業自動車小売業 三千六百五十九円

小売業 三千四百三十五円

適用除外など、くわしい内容は秋田県労働基準局におたずねください。

▽確定申告は早めに、正確に行いましょう。

ご協力ください

工業統計調査

通商産業省の工業統計調査と石油等消費構造統計調査が十二月三十一日現在で実施されます。この調査は、毎年行われているもので(一部の事業は隔年)年末年始に調査員が訪問しますので、協力ください。

マル優手続きが 変わります

昭和六十一年一月一日から

小額預金の利子の非課税制度(マル優)を利用する場合、預け入れ窓口で◎運転免許証◎住民票の写し◎年金手帳などによって、本人であることを確認します。

の年金」を確めま

お祝い電報の お得な制度

お祝い電報は「配達日の十日前から三日前」までに申し込むと百五十円割引になります。配達日指定と言って申し込みください。

移転します

大館地区総合庁舎

大館地区総合事務所、北秋田県税事務所などの新庁舎ができ、次のとおり移転します。新庁舎業務開始は十二月二十八日、移転場所は大館市片山町三一―四一五

新入園児を 募集します

町立の四保育園では、来年四月からの入園希望者を次のとおり受け付けします。

資格

昭和五十五年四月二日以降に生まれた児童で保育に欠ける児童

申込期限

一月十日(金)から一月三十一日(日)まで

申込先

役場福祉課(電話七八―二一一)

合川東保育園(電話七八―二二〇九 定員 百三十名)

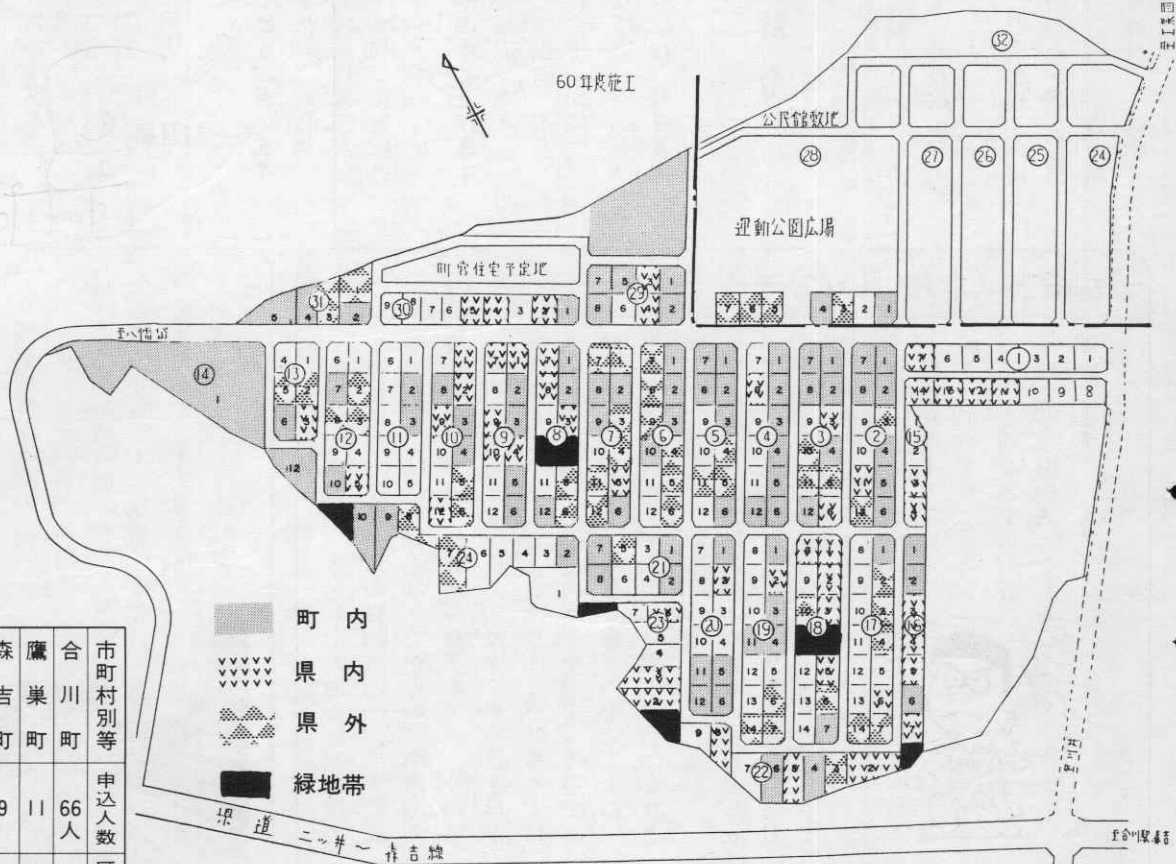
合川西保育園(電話七八―二二七九 定員 六十名)

合川南保育園(電話七八―三四四二 定員 四十五名)

合川北保育園(電話七八―二〇三四 定員 六十名)

入園申請書用紙は役場福祉課および各保育園で交付します。

好評分譲中です!! 『松ヶ丘団地』



町では「松ヶ丘」団地の宅地分譲を進めています。十二月十五日現在の分譲は右図のとおりです。

簡易水道、下水管の工事が完成。先着手続き順に、百八十四区画の分譲が終わっています。

松ヶ丘団地は川井地区と八幡岱地区にまたがって、町の中心街区として将来にわたって三百五十区画の分譲を計画。そのうち初年度分、二百七十一区画の分譲を七月から行っています。

分譲価格は百坪＝三百三十平方メートルで二百万円。幹線道路の限定価格。役場建設課に相談窓口がありますので、おたずねください。

分譲状況報告

市町村別等	申込人数	区画数
合川町	66人	86人
鷹巣町	11人	13人
森吉町	9人	12人
阿仁町	3人	5人
上小阿仁村	3人	3人
大館市	5人	7人
二ツ井町	3人	3人
能代市	3人	4人
秋田市	1人	1人
本荘市	1人	1人
東京都	13人	17人
千葉県	4人	7人
埼玉県	6人	9人
神奈川県	5人	6人
茨城県	3人	4人
群馬県	2人	2人
愛知県	1人	1人
福島県	1人	1人
青森県	1人	1人
北海道	1人	1人
合計	142人	184人

工事は造成工事のほか、取り付け道路、公園緑地造成、



交通死亡事故

全町でゼロの継続に

誓い新たに

＝町議会でも特別決議＝



婦人から家庭を通じて、一人ひとりに安全の呼びかけをと、母の会大会

五十五年六月十四日から続いている当町の「交通死亡事故ゼロ」がこの十二月四日で二千日を記録。五日には県警察本部長から「賛辞」の額が贈られました。

贈呈式は役場で行われ交通安全協会、交通指導隊、母の会の会員と役場職員が参加。町ぐるみの安全運動に、決意を新たにしました。

十二月八日には当町で阿仁部交通安全母の会大会を開催。交通安全は家庭での一人ひとりの声かけ運動から。と誓い合いました。分科会では

▽シートベルトを徹底しよう。▽交通安全旗の掲揚を忘れず。▽ゴミの投げ捨て・ドロはねなどマナーの悪い運転者に厳しい注意をしよう。▽危険な自転車・歩行者を見かけたら、すぐに声をかけ合おう。などと提言。道路標識や除雪についての要望もまとめました。

五人が意見発表を行い松橋祥子さん(道城)が交通指導隊員と主婦の立場から、「交通安全は日常的な習慣づけが大切」と呼びかけました。町では「目標二千日」の看板を「目標二千五百日」に変え。町議会の十二月定例会でも「ゼロ二千五百日達成」の特別決議を行い、交通安全の町民運動を広げることになっています。

成田道彦選手 李岱 出身 駅伝で新記録

十二月十五日、三重県で開かれた全日本実業団対抗駅伝で一区に出場した成田道彦選手が区間新記録を出しました。成田選手は李岱・成田道哉さんの二男。四十九年に西目農業高校を卒業し、社会人競技で活躍しています。

善意のご寄付

(敬称略)

- 「香典返しにかえて」 金田次雄 駅前(故母キヌ) 佐藤 豊 川井(故祖母ミエ) 桜田由雄 木戸石(故母キヨ) 藤田幸二 八幡岳(故妻愛子) 加藤勇喜 鎌沢(故父喜一郎) 金田重春 西根田(故父岩三郎) 高橋金蔵 美栄(故父昭市) 安部藤四郎 増沢(故父利一郎) 正田参良 木戸石(故妻秀子) [広報郵送料として] 藤島喜八郎 上尾市平塚二〇二五平塚団地五―四一〇 桜田豊久 札幌市東区北三八条東一六―二―一七

成人(林業) 学級のお知らせ

11月届

一月十九日(日)午後二時から、農村環境改善センターで。町政懇談会と安全祈願を行いますので、ご多数ご参加ください。

「良い習慣」を広く呼びかけよう

第二回健康シンポジウム

第二回農村の健康を考えるシンポジウムが十八日午後六時三十分から農村環境改善センターで開かれました。町の健康づくりの問題点などを出し合いながら、幅広く提言を求め合おうというもので、四人の意見発表から、百人をこえた参加者を交えて話し合を行いました。



はじめに山田一郎さん(リハビリ学級あやめ会々々長)が「血圧を測ったこともなく、食生活に気を配る必要も感じない体であったが、何の前ぶれもなく脳卒中にかかりました。後悔先に立たずということですが、この反省を多くの百人をこえる参加者を交えて話し合います。」と語り

人に語り、病気になることから「言葉で失望しないでがんばっています」と体験発表。千葉武郎さん(合川営林署長)は「職場では四十歳代・五十歳代がほとんどで、年二回の健康診断など、健康管理に気を配っていますが、病気で休む人が年間延べ二百日にも及びます。仕事環境もありませんが、職場で働き家でも時間を惜しんで働く一酒との付き合いが多いなど、習慣的な問題も感じています。」と職場から問題提起しました。

富士山昭子さん(合川東小学校養護教諭)は子どもの病気傾向を語りながら「職員全体が一人ひとりの子どもの健康を考えて指導にあたっており、病弱者もあせらずじっくり育てています。骨折事故が多いことと、当面はインフルエンザの子防に全校でとり組んでいます。」と報告。豊村正子さん(合川町農協生活指導員)はアンケート結果を発表。「過食、子どもだけでとる食事、好き嫌い、インスタント食品など、健康の基本である食生活に多くの問題が見つかりました。忙しくてできない」という声が四四・八%もありましたが、心と体の健康を求めて主婦の皆さんにがんばってほしいと思えます。」と語り

公立米内沢総合病院浅野真彦院長、厚生連北秋中央病院岸部院長、大野台の里木村士郎管理者の三氏と町長が助言者となって、意見発表と話し合いのまとめ。「良い知識をみんなに広め、習慣付けする努力をしよう。」と誓い合いました。

町の辞令

- 〔兼務〕 十二月一日付 合川農村勤労福祉センター所長を兼務 福祉課長桜田龍治 [嘱託] 合川町総合営農指導員(合川町農業総合指導センター勤務) 奈良茂雄 合川町体育指導員 小野昭英

交通安全

危険です

この場所でこんな事故が ⑨

この十字路では、県道側の車は安心して、ついついスピードが出がちです。町道側は一時停止の標識の見落としが大きな事故につながっています。町道を直進する車は、数年前までこの交差点がなかったため、ついつい「つぎ切って進入してしまい、あわててブレーキを踏むというケースが、いまだに見られるそうです。交通事故は年々変わっていきまますし、その日その時間によって道路状態は変わります。市部では一方通行の規制などで、とまどうことが良くあります。運転者は常にスピードをひかえめにし、どのような状態にも対応する心がけが必要です。

場所 川井字五郎左エ門田ノ沢 事故 車と車の衝突



寒稽古(かんげいこ)

厳しい寒さの中、少年剣士たちが竹刀を持って道場に急ぐ姿は、冬の風物詩の一つです。新年の話題には白い息をはきながらの寒中水泳の姿が、毎年のように放映されます。寒稽古と言え、武芸のことを思いうかべがちですが、芸事一たとは長唄、三味線などは、寒中の朝に練習を積むのだそうです。書道では書き初め、茶道では初釜。寒さの中で、この一年の希望を胸にすがすがしい稽古初めになります。

